

令和 7 年度 英国多文化コミュニティ政策交流プログラム
～英国の社会統合の現状～
実施要領

1 目 的

歴史的に様々な背景をもつ数多くの移民を受け入れてきた英国では、この国ならではのダイナミックな社会統合政策に基づき、行政、NPO 等のそれぞれの立場から施策を展開しているところである。これらの英国における多様な取組事例や課題への取組姿勢を学び、その現状について理解を深めることは、在留外国人数が近年急増する日本においても将来的に参考になると考えられる。

そこで、グローバルに展開される人の流れにより生み出される活力とそれに伴う課題や英国での社会統合政策に基づく取り組みを学ぶプログラムを実施する。現場の視察や関係者との意見交換等を通じて、日本の自治体等における施策の企画立案等に寄与することを目指す。

2 主 催

一般財団法人自治体国際化協会（クレア）

3 期 間

令和 7 年 9 月 15 日（月）から 9 月 20 日（土）までの 6 日間

4 場 所

英国（ロンドンを拠点に、地方の自治体等へ日帰り訪問する可能性もあり）

5 内 容

英国の社会統合政策に関する講義を受講した上で、英国ならではの施策を実施している現地政府機関や NPO 団体等を訪問し、訪問先の取組姿勢を学ぶ。また、現地訪問で得た知見を基に、各参加者の所属する団体における施策の企画立案等に生かすべく、参加者同士で意見交換を行う。

6 視察先例

※以下の視察先は想定です。視察先の都合等により、変更になる場合があります。

（1）自治体等の行政機関

- ・視察内容例 ①移民・難民等、多様性に配慮した施策展開の例
- ②英語を母語としない住民への支援

- ③移民・難民を取り巻くヘイトクライム等への対応 等
- ・視察先例 ロンドン内外の自治体 等
 ≪令和6年度視察先≫
 英国政府レベリングアップ・住宅・コミュニティ省
 イズリントン区

（２）支援団体（NGO 等）

- ・視察内容例 ①難民等に対する定住支援の取組
 ②自治体の多文化共生施策等の実施を支援する取組
 ③政府・自治体との連携事例 等
- ・視察先例 慈善団体、自治体向けコンサルティング団体 等
 ≪令和6年度視察先≫
 The Faith & Belief Forum
 The Big Red Kick
 Brixton BID
 St Saviour's Church of England Primary School

（３）大学・研究機関等

- ・視察内容例 ①自治体等による多文化共生施策・取組の優良事例
 ②多文化共生に向けた都市間ネットワークの形成・取組例
 ③政府・自治体との連携事例 等
- ・視察先例 大学・研究機関
 ≪令和6年度視察先≫
 London School of Economics
 Migration Work CIC

（４）博物館等

- ・視察内容例 地域コミュニティ等に対する多様な背景を持つ方への理解促進
 の取組 等
- ・視察先例 移民をテーマにした博物館 等
 ≪令和6年度視察先≫
 移民博物館

7 対 象

- （１）地方公共団体（都道府県及び市区町村）の職員
- （２）地域国際化協会の職員
- （３）地方公共団体又は地域国際化協会の推薦を受けたNPO等民間団体・国際機関の職員等、又は市区町村国際交流協会の職員

※通訳者が同行するため、英語の能力は問いません。

※（３）の場合、推薦書が必要となります。ただし、市区町村国際交流協会の職員については推薦書の提出は不要です。

8 募集人数

15 人程度（最少催行人数 5 人）

9 過去の実施状況

下記をご参照ください。

令和 6 年度 報告書

令和 6 年度 現場レポート「英国多文化コミュニティ政策交流プログラム」

令和 5 年度 報告書

令和 5 年度 現場レポート「初開催！英国多文化コミュニティ政策交流プログラム」

令和 4 年度 事前視察報告書

10 費用

研修参加費：無料

ただし、次表のとおり自己負担費用が伴います。

自己負担費用 (各自手配)	①	プログラム参加に伴う旅費（航空賃、英国内での移動に係る交通費等。なお、地方の自治体訪問に際しては、鉄道賃の実費をご負担いただきます ※100～200 ポンド程度を想定。）
	②	プログラム参加に伴う宿泊費
	③	入国に必要な書類等の取得料
	④	空港使用料
	⑤	航空保険料
	⑥	食費

※地域国際化協会職員の参加に係る経費の助成について

- ・ 地域国際化協会からの参加者（個人での参加を除く。）については、地域国際化協会連絡協議会から、①の内の航空賃及び②～⑤の費用について、実際に要した費用の 1/2 以内の額（1 円未満切り捨て）を助成します。ただし、①については日本の国際空港とヒースロー空港間の往復航空運賃（ただし、エコノミー料金）と航空券の手配に係る手数料等を助成対象経費とし、その 1/2 以内の額（1 円未満切り捨て）を助成します。②については原則として研修期間中の英国内の宿泊料金（原則、1 夜につき国家公務員等の旅費支給規程別表第二 宿泊基準額に規定される「職務の級が十級以下の者」の額（ロンドン 44,000 円、エディンバラ 38,000 円、その他 29,000 円））を助成対象経費の上限として、その 1/2 以内の額を助成します。

- ・航空券と宿泊施設の手配に当たっては、航空券と宿泊施設を別々に手配した場合と、パック商品（宿泊＋航空券）の場合を比較するなどして経費節減に努めてください。
パック商品の利用時は、その宿泊施設を単体で予約した場合に上記上限額を超えないことを確認してください。
- ・フライトの都合上、前後泊する場合は事前にご相談ください。
- ・①に関して、英国内での移動に係る交通費等は助成の対象外となります。ただし、ロンドン郊外の視察先への移動に係る交通費については助成対象とします。詳細は、後日対象となる参加者に改めてお知らせします。
- ・その他、旅費支給に関しては、当協会の旅費規程に基づきますのでご了承ください。

1.1 申し込み方法

別紙「令和7年度 英国多文化コミュニティ政策交流プログラム参加申込書」に必要事項を記入のうえ、下記の申込先まで E-mail にてお申込みください。なお、「7 対象」の（3）に該当する方については、推薦書もあわせてご提出ください（別添【参考様式】参照）

【申込先】（一財）自治体国際化協会 東京本部 多文化共生部多文化共生課
E-mail : tabunka@clair.or.jp

※ 申込期限：令和7年7月11日（金） 必 着

1.2 行 程（予定）

日 程	行 程
9月15日（月）午前 （9時30分集合）	オリエンテーション 参加者による自己紹介、英国の社会統合政策の概要説明 等
9月15日（月）午後 ～ 9月19日（金） （9時を目安に集合時間を設定）	各訪問先視察 視察先の例については、上記「6 視察先例」のとおり
9月20日（土）午前 （9時30分を目安に集合時間を設定）	意見交換会 参加者によるプログラムの振り返り、意見交換 等

※9月15日（月）は、9時30分までに集合してください。

※9月16日（火）～9月19日（金）は9時集合、18時解散を目安とする予定です。

（訪問先の都合等により変更となる可能性があります。）

※集合・解散場所はロンドン事務所近辺となります。（詳細は追ってお知らせします。）

1 3 その他

- （1） 初日のオリエンテーションにて、参加者の方に自己紹介や関心テーマ、抱負等を発表していただきます。
- （2） 参加者の方には、事後にプログラム中に学んだ内容を報告書にまとめていただく予定ですので、ご注意ください。

1 4 問い合わせ先

- （1） 研修内容に関するお問い合わせ

（一財）自治体国際化協会 ロンドン事務所

E-mail : mailbox@jlgc.org.uk

- （2） 研修費用・申込に関するお問い合わせ

（一財）自治体国際化協会 東京本部 多文化共生部多文化共生課

E-mail : tabunka@clair.or.jp